

英語科学習指導案

指導者

展開学級 年 組

展開場所 年 組教室

1 単元名 Program 7 Is AI a Friend or an Enemy?

2 単元について

(1) 単元観

本単元では、AI (Artificial Intelligence) について取り上げ、ロボット掃除機など自分たちの身の回りですでにAIの技術が使われているものがあることやAIの技術のどのような点が優れているのかを将棋プログラム「ポナンザ」を例として学ぶことができる。また、医療現場でAIの技術を使うことで、病名を迅速に特定し誤診が減り、外科手術の正確性も増すことが期待されるが、その一方で、AIの技術によって代替可能な職業に就いている人たちが職を失ってしまう可能性があるという現状を知ることができる。この題材を通して、AIの利点に目を向けるばかりでなく、今後自分たちがどのようにAIと生きていくのかについて考えられる機会にしたい。指導については、学習指導要領外国語第2英語の目標(3)話すこと[やりとり]イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」に重点を置く。言語材料については、仮定法過去を扱う。第2学年で学習した実現性がある場合に使う条件節のifとは異なり、仮定法過去では、「現在の事実と反すること」や「現在や未来のことについての可能性が低い場合」に使うということに気づかせ、考えや気持ちを述べる場面で仮定法を用いることで表現の幅が広がり、良い一層充実したコミュニケーション活動につなげていきたい。

(2) 指導観

本校の研究主題は「対話を通して自分の考えを深める生徒の育成～教えあい、学びあう学習活動の充実～」であり、対話する場面を多く設定し、仲間から学びともに高めあっていけることを目指している。それを踏まえて、英語科の研究主題を「英語を使って積極的に自分の考えや意見を伝え合おうとする生徒の育成～ペア活動やグループ活動を通して～」と設定した。ペア活動やグループ活動を通して、基礎・基本となる知識を定着させ、小集団での活動を多くすることで、少しずつ自分の考えや意見を自信をもって伝えられるようになると考える。したがって本単元でも、ペア活動やグループ活動の方法を工夫しながら、本単元で取り扱う文法を使用する場面を設定し、本校CAN-DOリスト第3学年の話すこと(やりとり)「与えられた場面で即興的に会話をすることができる」を達成できるような指導をする。

3 単元の目標

- (1) 仮定法過去を用いた文の構造を理解する。 [知識] 【知識及び技能】
- (2) 現在の事実に反することについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、仮定法過去を用いて伝える技能を身に付ける。 [技能] 【知識及び技能】
- (3) 相手に伝わるように、事実に反することについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、伝えたり、相手からの質問に答えたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- (4) 相手に伝わるように、事実に反することについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 仮定法過去を用いた文の構造を理解している。 [技能] 現在の事実に反することについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、仮定法過去を用いて伝える技能を身に付けている。	相手に伝わるように、事実に反することについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	相手に伝わるように、事実に反することについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

5 単元の指導計画（全 10 時間扱い）

時数	ねらい (■)、言語活動等 (・)	知	思	態	備考
1	■本単元の導入 ・この科でできるようになることを確認する ・どんな場面でAIが使われているか調べる				
2 (本時)	■仮定法過去 (<If+主語+be 動詞>の場合)の 意味や働きを理解する。 ・友達にアドバイスする。				・学習の振り返りは毎時間行わせる。 ・自分の考え等を伝える際は、できるだけ語句ではなく文で伝えさせる。
3	Think 1 ■ネットショッピングをしようとしている親子の対話文を読んでその内容について理解する。 ・Q&Aによる本文理解の確認・音読練習をする。				
4	■仮定法過去 (<If+主語+一般動詞>の場合)の 意味や働きを理解する。 ・現実離れた夢について表現する。				
5	Think 2				

記録に残す評価は行わない。ただし、狙いに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは必

	<p>■コンピュータ将棋ソフト「ポナンザ」について書かれた本文の内容について理解する。</p> <p>・Q&Aによる本文理解の確認・音読練習をする。</p>				
6	<p>■仮定法過去（<I wish+主語+（助）動詞の過去形>の場合）の意味や働きを理解する。</p> <p>・現実にはあり得ないことについての願いを表現する。</p>				
7	<p>Think 3</p> <p>■医療現場でAIが使われた時のメリットやデメリットについて書かれた本文の内容について理解する。</p> <p>・Q&Aによる本文理解の確認・音読練習をする。</p>				
8	<p>Retell</p> <p>■本文の内容について、事実や自分の考えを整理して自分の言葉で話す。</p>	○			活動の観察
9	<p>Program 7まとめ</p> <p>・リスニングテスト</p> <p>・Interact</p> <p>ペアでドラえものの道具を使って何がしたいかについて伝え合う。</p>	○	○	○	活動の観察 ワークシート
10	<p>パフォーマンステスト</p> <p>・ALTの悩みについて、自分だったらどうするのか考えアドバイスをする。</p>	○	○	○	

5 本時の評価について

Q1

	知識・技能
a	黒板を見ないで If I were you, I would[could] ～. が言える。
b	黒板を見て If I were you, I would[could] ～. が言える。
c	「b」を満たしていない。

Q2

	知識・技能
a	その形を使って、どの高校がよいか根拠も加えてアドバイスできる。
b	その形を使って、どの高校がよいのかアドバイスできる。
c	「b」を満たしていない。

6 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

- ① 仮定法過去を用いた文の構造を理解している。 [知識] 【知識及び技能】
- ② 現在の事実と反することについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、仮定法過去を用いて伝える技能を身に付けている。 [技能] 【知識及び技能】

(2) 本時の展開 (1 / 9)

時配	学習活動 (○) と内容 (・)	◆指導や支援の手立て ◎評価
挨拶 帯活動 7分	○ペアで物あてクイズを行う ・教師が提示したものを隣の人に英語で説明し、正解出来たら座る。	◆クイズに答える生徒は後ろを向かせ、クイズを出すほうにのみ問題を見せる。
導入 5分	○新出文法を含む表現の意味を推測する。 ・絵などを見ながら教師とやりとりをして意味を考える。 ○新出文法の練習 ・やり取りをしたときに使った表現を練習する。	◆視覚教材 (スライド) を使いながら、学習の文法について意味を推測しやすくする。 ◆今日使う表現がどのような意味になるか意識しながら練習させる。
展開① 10分	○新出文法を含む表現がどのような場面で使われるのか推測する。 ・教師とやりとりをしながらどのような場面で使われるか考える。 ○本時の目標を確認する。	◆視覚教材 (スライド) を使いながら、どのような場面で学習の文法が使われるか推測しやすくする。 ◆生徒が相手の立場に立ってアドバイスをするとき伝える表現であることに気付かせる。 ◆本時の目標を明示して、生徒と共有する。
Today's Goal: 「相手の立場に立って、アドバイスできるようになろう」		
展開② 20分	○受験校の最終決定に悩んでいる友達にアドバイスする。 ・教師の例を見る。 ・キーフレーズの練習をする。 ・どのような質問をしながらアドバイスするか考える。 ・ペアになり、1分半会話し、友達にアドバイスをする。終わったら役割を交代して行う。(×2) ○振り返りを行う	◆視覚教材を使いながら例を見せる。 ◆黒板にキーフレーズを書く。 ◆どのような高校で悩んでいるのか資料を読ませる。 ◆どのような質問をすればアドバイスできるか考えさせる。 ◆活動前に、自分でリハーサルさせる。 ◆机間指導し、アドバイスする側が質問したり、アドバイスをもらう側も質問に答えたりしながら、1分半会話続けるよう支援する。 ◎仮定法過去を用いた文の構造を理解してい

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がしっかりとアドバイスできたか考え、ワークシートに記入する。 ・教師（アドバイス役）とやりとりを行う。 ○ペアを変え、もう2回行う。 ○振り返りを行う。 	<p>る。〔知識〕【知識・技能】（後日ペーパーテスト）</p> <p>◎現在の事実に反することについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、仮定法過去を用いて伝える技能を身に付けている。〔技能〕【知識・技能】（後日ペーパーテスト）</p> <p>◆正しい質問の仕方に気づかせたり、アドバイスを1文から2文に増やしたりして次の活動に生かせるようにする。</p> <p>◆黒板に書いたキーフレーズを消す。</p>
<p>まとめ 3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の振り返りを行う。 ・GIGA タブを開き、自己評価カードを書く。 	<p>◆今日学んだこと、使えるようになった表現をしっかりと書くように伝える。</p>

(3) 本時の評価

- ① 仮定法過去を用いた文の構造を理解できたか。 〔知識〕【知識及び技能】
- ② 現在の事実に反することについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、仮定法過去を用いて伝える技能を身に付けられたか。 〔技能〕【知識及び技能】